何い孤こ時っ独ざ に L 満み ゕ を経済を てる らぬ芝生の上に合も訪ずれぬ 我が き青春 に

に

7

満み

る 我ゎ

が自治寮

に

我ゎ鳴ぁが 呼ぁ で朝まる かっで露まる でいま 呼我一人にあらずして
あかれのとり
如 かわす楽しさよ と青春は寮友とあり

を求し に 満み 水めて蝦夷へ来ぬでる旅人一人 ぬ

我ゎ鳴ぁい ど深まる友情か 埋ずにむ める野心語ないに突差した 生むる原質を 7 る 我ゎ 始し 'n が ñ ぬ 同ら 0 な 森り 胞質 ば に

が青春は寮友とあり呼我一人にあらずして

夕日に映 、も 秋<sup>き</sup> ゆるポプラの並 の気配の気配 あり 木き ち

服部泰明 Ш 崎 芳行 君 君 作 作 曲 歌